

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 新31 - 0014

平成31年度行政事業レビューシート ( 総務省 )									
事業名	異システム間の周波数共用技術の高度化			担当部局庁	総合通信基盤局電波部	作成責任者			
事業開始年度	平成31年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	電波政策課	課長 布施田 英生			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	電波法第103条の2第4項第3号			関係する計画、通知等	規制改革実施計画(平成29年6月9日閣議決定) 未来投資戦略2017(平成29年6月9日閣議決定)				
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	文教及び科学振興、その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2020年以降のIoTや5G等の普及に向けて、新たな電波利用ニーズに対応するため、自律的(ダイナミック)な周波数共用・干渉回避技術の研究開発等により、既存無線システムとの高度な周波数共用を実現する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	2020年以降のIoTや5G等の普及に向けて、新たな電波利用ニーズに対応した周波数を確保するためには、異なる無線システム間の周波数共用など、電波有効利用を一層推進することが重要である。このため、5Gの追加割当てが想定される周波数等を対象に、既存無線システムとの稠密な周波数共用を可能とするデータベース等を活用した自律的(ダイナミック)な周波数共用・干渉回避技術の開発等を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	2,495	4,386		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	0	0	0	2,495	4,386			
	執行額	0	0	0	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-			
平成31・32年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	電波監視等業務庁費	1,716	3,014	令和元年度より検討している周波数帯域に加え、最新の国際動向等を踏まえて、新たに5Gの検討対象とする周波数帯域を追加し、ダイナミックな周波数共用に向けた検討を行っていく必要があるため。					
	電波利用技術研究開発等委託費	779	1,372						
計	2,495	4,386							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	研究開発及び調査検討において、外部専門家による終了評価の平均点が5点満点中3.5点以上	外部専門家による終了評価の平均点	成果実績	点	-	-	-	-	-
		上記指標を使用するため、中間目標はなし	目標値	点	-	-	-	-	3.5
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	総務省の「電波利用ホームページ」で公表している電波利用料による研究開発等の評価に関する会合終了評価結果								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
	周波数共用システムの適用周波数帯の検証数	活動実績		件	-	-	-	-
当初見込み			件	-	-	-	3	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	
	執行額の合計 / 周波数共用システムの適用周波数帯の検証数	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	831.7	
		計算式	百万円/件		-	-	-	2,495 / 3

政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策	V. 情報通信(ICT政策)							
	施策	5. 電波利用料財源による電波監視等の実施							
	測定指標	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 31 年度
		外部専門家による終了評価の平均	実績値	点	-	-	-	-	-
			目標値	点	-	-	-	-	3.5
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
自律的(ダイナミック)な周波数共用・干渉回避技術を開発することで、既存無線システムとの稠密な周波数共用が可能となるため、電波の適正かつ能率的な利用の推進に寄与する。									

**事業所管部局による点検・改善**

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、規制改革実施計画(平成29年6月9日閣議決定)や未来投資戦略2017(平成29年6月9日閣議決定)において実施の必要性を求められているものであり、社会のニーズを反映していると言える。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、周波数共用のための技術の開発・実証のために行うものであり、民間事業者のみならず国の機関を含めた免許人が利益を享受するような周波数共用システムの実現をめざすものであり、国により実施されるべきものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、電波法第103条の2第4項第3号に定める規定に基づき、実施するものであり、適切な達成手段であると言える。また、本事業は、規制改革実施計画(平成29年6月9日閣議決定)や未来投資戦略2017(平成29年6月9日閣議決定)において実施の必要性を求められているものであり、優先度の高い事業と言える。
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	「5Gの導入に向けた電波の利用状況調査」において取得した既存無線システムの詳細な利用実態等の情報を本事業の研究開発等の基礎的データとして活用する。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	総務省	新31 - 0020	5G導入に向けた電波の利用状況調査	
点検・改善結果	点検結果			
	改善の方向性			
<b>外部有識者の所見</b>				
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>				
<div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;">           事業の目的の達成に向け、適正な予算執行に努めること。         </div>				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>				
<b>備考</b>				

関連する過去のレビューシートの事業番号																																																																													
平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																																							
平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度																																																																							
平成30年度																																																																													
※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。																																																																													
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;"> <b>総務省</b>              2,495百万円           </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">             ( 異システム間の周波数共用技術の高度化に関する研究開発              移動通信システムと他の無線システムとのダイナミックな周波数共用に関する技術的検討 )           </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">             ↓              【公募・委託】  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> <b>A. 民間企業・大学等の研究機関等</b>                779百万円             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">               ( 既存無線システムとの高度な周波数共用を実現するための自律的(ダイナミック)な周波数共用・干渉回避技術について研究開発を実施。 )             </div> </div> <div style="text-align: center;">             ↓              【一般競争契約(総合評価)】  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> <b>B. 民間企業・大学等の研究機関等</b>                1,716百万円             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">               ( 既存無線システムとの高度な周波数共用を実現するための自律的(ダイナミック)な周波数共用の実現に向けた、共用条件等の調査検討及び技術実証を実施。 )             </div> </div> </div>																																																																												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">A.</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">B.</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">費目</th> <th style="width: 45%;">使 途</th> <th style="width: 20%;">金 額 (百万円)</th> <th style="width: 15%;">費目</th> <th style="width: 45%;">使 途</th> <th style="width: 20%;">金 額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td> </td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td> </td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>						A.			B.			費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)																																																							計		0	計	
A.			B.																																																																										
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)																																																																								
計		0	計		0																																																																								
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						<input type="checkbox"/> チェック																																																																							
<b>費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載</b>																																																																													

